

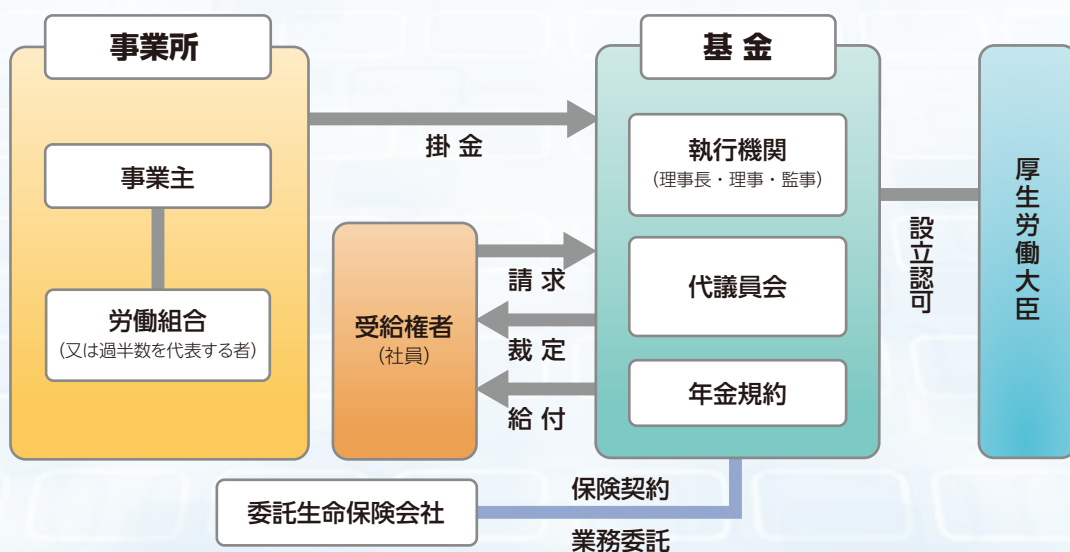
日本出版産業企業年金基金

(愛称：JPP 基金)のご案内

日本出版産業企業年金基金(愛称：JPP 基金)は、加入者の受給権の保護を図る観点から導入された「確定給付企業年金法」に基づく新しい年金制度として、平成 22 年 4 月に創設いたしました。

出版・出版取次・印刷・製本・書店など出版産業に携わる社員の退職金を支える制度のひとつとして、また従業員福利厚生制度の充実の一助として、ぜひともご検討いただきますようお願い申し上げます。

制度の枠組



日本出版産業企業年金基金の特徴

1 柔軟な掛金・給付の選択肢

加入企業ごとにひとつの掛金コースを選択いただくほか、就業規則等に定める勤続年数や年齢等の客観的な基準に基づいて、個人ごとに掛金コースを選択することが可能です。各企業単位で20のコースから選択が可能な定額拠出のキャッシュバランスプランです。年金支給期間は5年・10年・15年の3パターンから、また支給開始年齢も60歳以降65歳までの間で自由に選択することができます。

2 運用リスクの軽減

給付の算定に使用する利率を10年国債の過去1年間の平均利回りとし、生命保険会社の利率保証商品である一般勘定を中心に運用し、運用リスクの軽減を図っています。

3 低廉な制度運営費用

加入者・受給者等の管理費用(業務委託手数料)が単独で実施する場合に比べて低廉です。事務・システムともに外部委託などを通じて、運営コストの縮減を図っています。

4 税制上のメリット

JPP基金にお払い込みいただく掛金は、税務上、損金(必要経費)に算入できます。

5 業界共通の福利厚生制度

業界全体の福利厚生制度として、優秀人材の採用にも活用可能です。

詳しい説明や加入手続、ご質問につきましては、
日本出版産業企業年金基金事務局までお気軽にご相談ください。

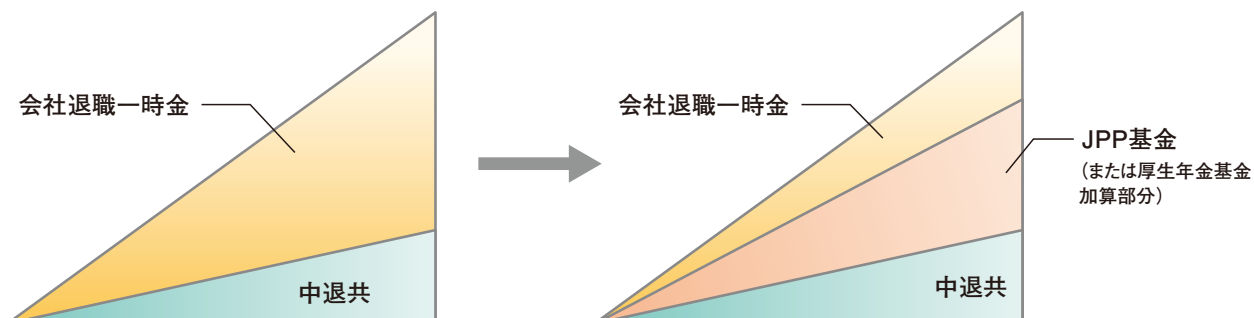
電話 03-5840-0251 FAX 03-5840-0252

〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-1TK セントラルビル8階

日本出版産業企業年金基金

フレキシブルに活用OK

〈制度導入事例〉 中小企業退職金共済(中退共)を退職金の内枠としている企業がJPP基金に加入した場合



20コースの選択肢 掛金月額コースを20コース用意し、多様な給付水準に対応しています。

1人あたりの掛金月額	モデル一時金 (35年加入)	60歳開始モデル年金月額(35年加入)		
		5年有期年金	10年有期年金	15年有期年金
掛金 3,000円 コース	1,813千円	31千円	16千円	11千円
掛金 6,000円 コース	3,627千円	63千円	33千円	23千円
掛金 9,000円 コース	5,441千円	95千円	49千円	34千円
掛金 12,000円 コース	7,255千円	126千円	66千円	46千円
掛金 15,000円 コース	9,069千円	158千円	83千円	58千円
掛金 18,000円 コース	10,882千円	190千円	99千円	69千円
掛金 21,000円 コース	12,696千円	222千円	116千円	81千円
掛金 24,000円 コース	14,510千円	253千円	133千円	93千円
掛金 27,000円 コース	16,324千円	285千円	149千円	104千円
掛金 30,000円 コース	18,138千円	317千円	166千円	116千円
∴ (以下、3,000円きざみになります。)	∴	∴	∴	∴
掛金 60,000円 コース	36,276千円	634千円	332千円	232千円

上記モデル給付額は、指標利率2%、22歳入社、25歳加入 60歳退職とした場合の額です。実際の給付額は指標利率により変動します。

掛金コース別のモデル給付額

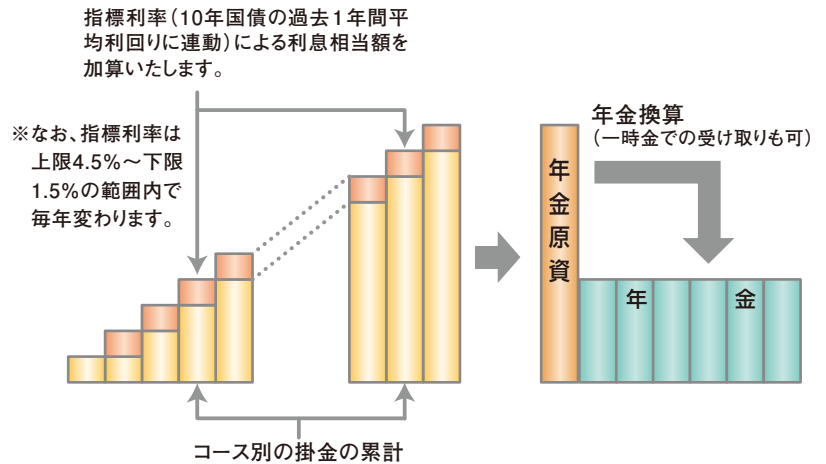
加入年数 拠出月額	5年	10年	15年	20年	25年	30年	35年	38年
3,000円	188千円	397千円	627千円	881千円	1,162千円	1,471千円	1,813千円	2,035千円
6,000円	377千円	794千円	1,255千円	1,763千円	2,324千円	2,943千円	3,627千円	4,071千円
12,000円	755千円	1,589千円	2,510千円	3,526千円	4,648千円	5,887千円	7,255千円	8,143千円
15,000円	944千円	1,987千円	3,137千円	4,408千円	5,811千円	7,359千円	9,069千円	10,179千円

モデル給付額は、指標利率が2%と仮定した場合の加入年数別の一時金額です。実際の給付額は指標利率により変動します。

※ キャッシュバランプランの採用

キャッシュバランプランでは、加入企業単位で掛金コースを選択し、加入者ごとに帳簿上で掛金の累計額を管理します。これに規約で定めた指標利率による利息相当額を加えた元利合計金額を給付算定用の基準額として給付を行います。

利息相当額の計算に用いる指標利率は10年国債の過去1年間の平均利回りに連動させるため、安定した年金制度の運営が期待できます。

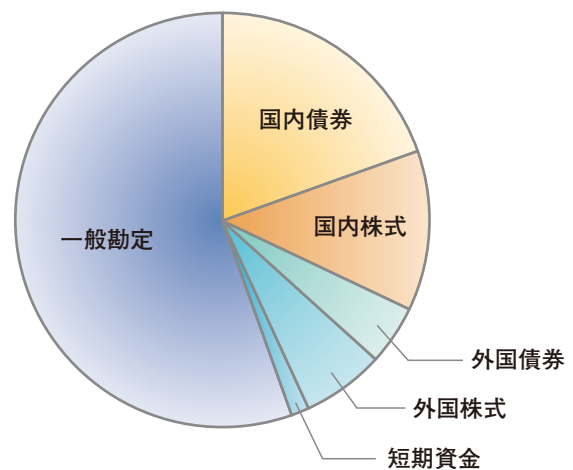


※ 安全性を重視した資産運用

生命保険会社の利率保証付き商品である一般勘定と国内債券等の安全資産が全体の約80%を占める資産を組み合わせた基本ポートフォリオを設定。

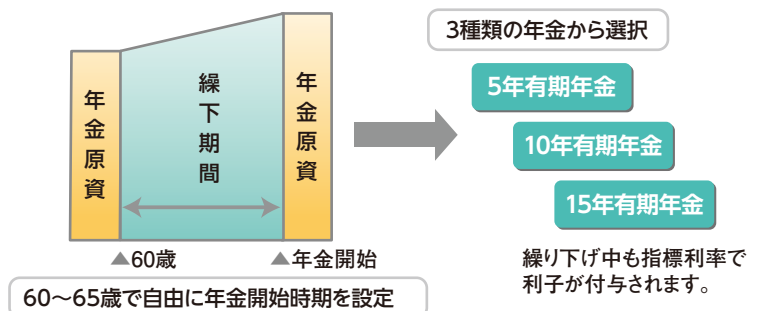
リスクを抑制しながら安定的な収益の獲得を目指す資産運用をしています。

期待収益率 **2.4%**



※ ライフスタイルにあわせた柔軟な給付設計

受給者本人の希望により、一時金で受けることももとより、年金で受けることも可能です。年金の受取開始年齢を60~65歳の間で自由に年金開始年齢を決めることができ、支給額・支給期間が異なる3種類の年金から選択が可能です。



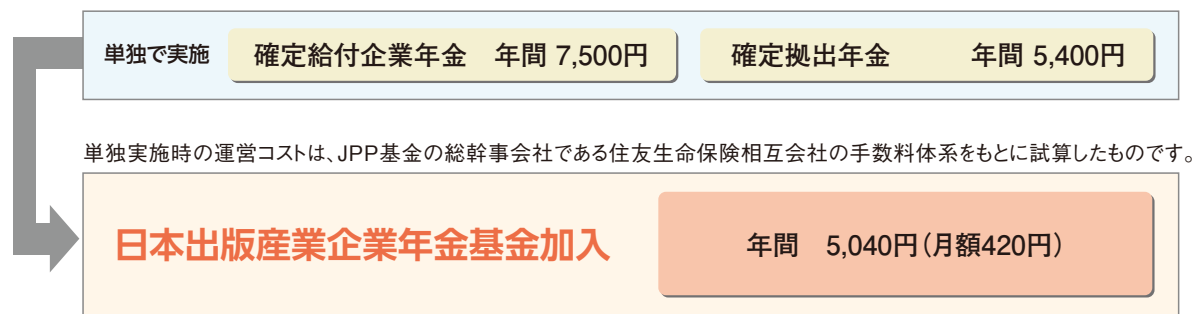
〈給付の種類〉



※ 単独で実施するよりもコスト軽減が期待できます

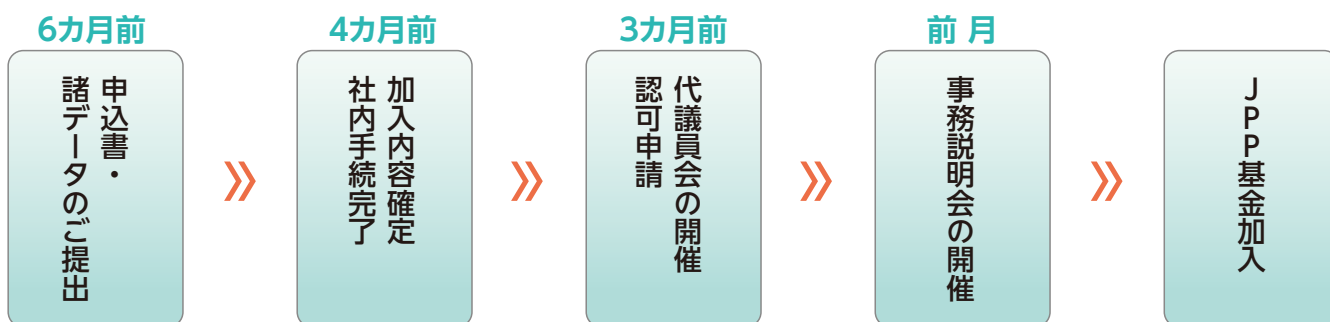
単独で確定給付企業年金や確定拠出年金を導入する場合に比べて、制度運営コストは軽減されます。

● 加入員1人あたりの制度運営コスト試算(従業員数50名の場合)



※ 認可申請手続きのため、加入には半年程度の時間が必要です

加入申込みから加入いただくまでのプロセスは、おおよそ次のようになります。



制度のプロフィール

名称	日本出版産業企業年金基金 (愛称: JPP 基金)	H22.4.1 設立(関基第 008136 号)
対象企業	出版・出版取次・印刷・製本・書店などの出版産業	出版厚生年金基金に加入してなくてもこの制度には加入できます。
加入対象者	加入企業の就業規則に定める従業員	役員・嘱託・パートタイマーは除外することになります。
加入時期	毎月 1 日	入社 2 年 11 か月経過の翌月 1 日に加入します。
給付体系	コース別掛金によるキャッシュバランスプラン	付利率は、10 年国債の過去 1 年間の応募者利回りを基準に 1.5% から 4.5% の範囲で毎年決定します。
年金	年金受給資格: 加入 15 年以上 年金種類: 5 年、10 年、15 年有期年金から受給者が選択 年金開始: 60 歳	年金開始は、60~65 歳の範囲で受給者が選択することができます。
一時金	脱退一時金、遺族一時金、選択一時金	
掛金	3,000 円・6,000 円・9,000 円・12,000 円・15,000 円・18,000 円・ 21,000 円・24,000 円・27,000 円・30,000 円・33,000 円・36,000 円・ 39,000 円・42,000 円・45,000 円・48,000 円・51,000 円・54,000 円・ 57,000 円・60,000 円 の各コースから選択	加入企業ごとにひとつのコースを選択。ただし、就業規則等において、勤続年数や年齢、基準給与等の客観的基準に基づいて個人ごとに掛金コースを変更することができます。
計算利率	2%	掛金算定のために設定する利率です。
脱退時の取扱い	脱退時の給付に必要な積立金が不足している場合、不足額を一括拠出	